

各 位

2026年1月5日
株式会社インプレス

「チーム」に焦点を当てたプロジェクトマネジメントの入門書『ゼロからはじめるチームプロジェクトマネジメント 理論だけで終わらない“現場で必須”の基本&実践ノウハウ』 を1月8日（木）に発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、プロジェクトマネジメント初心者に向けた書籍『ゼロからはじめるチームプロジェクトマネジメント 理論だけで終わらない“現場で必須”の基本&実践ノウハウ』を2026年1月8日（木）に発売いたします。



■現場で本当に役立つ「チーム視点」のプロジェクトマネジメント（PM）入門の決定版

変化の激しい現代のビジネス環境において、DXを推進する多くの企業では、プロジェクトを成功に導く一方で、「PMの基本的なスキルを持つ人材不足」や「経験の浅いリーダー・メンバーが現場で直面する困難」が大きな課題となっています。

これまでのPM関連書籍は、専門的な理論やプロセスに偏り、初心者には難解で、チームワークも加味した実践的なノウハウを学べるもののが少ないので現状です。

そこで本書は、「はじめてプロジェクトに配属された」「いきなりリーダーを任せられた」というPM未経験者や初心者が、チームで確実に成功をつかむためのガイドブックとして企画しました。マネジメント経験20年のプロが、理論だけでなく、現場で「本当にやるべきこと」を徹底的に解説します。

■本書で身につく実践ノウハウ

本書は、プロジェクトの立ち上げから終了まで、チームが直面する具体的な課題と解決策を、やさしく手ほどきします。

- **PMの基本と進め方**：チームで最初に決めるべきこと、計画、進捗管理、問題解決、ふりかえりまでの具体的なプロセスを網羅。

- **現場で役立つ実践スキル**: チームでの効果的な役割分担やコミュニケーション、現実的なスケジュールの立て方、予期せぬトラブルへの対応策など、チームで成果を出すための基礎と応用スキルが無理なく身につきます。
- **成功と失敗の秘訣**: PM初心者が陥りやすい失敗事例とその回避策、プロジェクトを成功させる秘訣、そして、迷走した際の立て直し方まで、今日からすぐに実践できるノウハウが満載です。

現場に配属されたばかりの新人から、現場ですでに奮闘するリーダーやメンバー、リスクリソースでこれから学びたいという方まで、現場で本当に役立つPMのキホンを知りたいすべての方々におすすめの一冊です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ プロジェクトやプロジェクトマネジメントの未経験者・初心者
- ・ はじめてプロジェクトに配属されたリーダーやメンバー
- ・ これからプロジェクトマネジメントを学びたい人
- ・ 現場でDXを任されているリーダーやメンバー

■紙面イメージ

1-2 プロジェクトの目的と ゴールを決めよう

「さあ、プロジェクト始めよう！」……といって、始まるほど単純ではないのがプロジェクトです。始まるということは、終わるということ。つまり、始めるということは、終わり方を決めておこう、ということでもあります。それが、プロジェクトの「目的」と「ゴール」になります。

「やることリスト」ではなく、「なんのためにやるか」を決める

「プロジェクトを始めたら、まずやることリストを作りましょう」と言われることが多いかもしれません。確かに、すべきことを整理するのは大切です。でも、その前に「このプロジェクトはなんのためにやるのか？」という「目的」を明確にすることが、実はとても重要なのです。

目的が曖昧なまま「やること」に着手すると、途中で「結局、なにを目指してんだろう？」と迷子になりやすくなります。その結果、チームの優先順位や判断基準がバラバラになり、やり直しが発生するリスクも高まるでしょう。たとえば、イベント企画で考えてみます。

- 目的がない場合：ただ会場を手配し、当日の進行表を作り、広告を打つ……というタスクだけが先行してしまう
- 目的がある場合：「新製品をPRしたい」「社内の結束を高めたい」など、目的によってタスクの優先順位が変わり、進め方にもメリハリがつく

目的が明確になっていれば、どのタスクを優先するか、どこに力を入れるかが自然と見えてきます。

目的を言語化する4ステップ

では、どうすれば目的をうまく言葉にできるのでしょうか。次のステップを参考にしてみてください。

1. 自分たちの活動に関心がある人を挙げる
①：「自分」「チームのリーダー」「広報担当」「利用者」など
2. その人たちが期待している成果を想像する
②：「認知度アップ」「新しい体験の提供」「売上向上」「技術力の向上」など
3. 成果の理由を深掘りする
○「なぜ認知度を上げたいのか？」→「製品を知ってもらいたいから」→「売上を上げたいから」
4. 因果関係をつなげて一文にまとめる
③：「私たちが新しいツールに挑戦することで、社内での業務効率が向上し、最終的には顧客満足度の向上につながる」

こうした一文を作ることで、チーム全体で共通の目的意識を持てるようになります。そして、その一文は**「プロジェクトの軸」となり**、迷ったときに立ち返る指針になるでしょう（図1-2）。

●図1-2 目的を探る4ステップ

第1章・まず、チームで「なにをするか」を決めよう！

自分たちの活動に関心のある人リスト

関心のある人たちそれぞれの期待リスト

それぞれの期待の先にある理由を深掘りする

このプロジェクトが達成すべき成果

このプロジェクトの最終目的

22 1-2 プロジェクトの目的とゴールを決めよう

23

プロジェクトマネジメント初心者でも読みやすいよう、キホンからしっかり丁寧に解説していきます



各章末には、見開きのマンガを掲載しています。個性的なキャラクターとともに、楽しく学んでいきましょう！

■本書の構成

- 序 章 チームで進めるプロジェクトってなに？
- 第1 章 まず、チームで「なにをするか」を決めよう！
- 第2 章 チームでうまく協力するためのルールを決めよう
- 第3 章 計画なしで進めると迷子になる！？
- 第4 章 いよいよプロジェクトを進めよう！
- 第5 章 うまくいかないときの対処法
- 第6 章 プロジェクトの途中でふりかえろう！
- 第7 章 プロジェクトを終えるときにやること
- 第8 章 チームをもっと強くするために
- 第9 章 プロジェクトマネジメントは1人の特別なスキルじゃない！

■書誌情報



書名：ゼロからはじめるチームプロジェクトマネジメント 理論だけで終わらない“現場で必須”の基本&実践ノウハウ

著者：森實 繁樹

発売日：2026年1月8日（木）

ページ数：296ページ

サイズ：A5判

定価：2,200円（本体 2,000円+税10%）

電子版価格：2,200円（本体 2,000円+税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02342-5

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023426>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101025>

■著者プロフィール

●森實 繁樹（もりざね しげき）／samuraiRed

株式会社レッドジャーニー トランسفォーメーションコーチ

SWise株式会社 外部顧問

Pluslab株式会社 外部顧問

国立大学法人筑波大学 情報学群 非常勤講師

文系学部卒業後、富士通で大規模システム開発に従事し、2003年からXPを実践。野村総合研究所では保険業界の大規模プロジェクトをリードし、プロジェクトマネジメントと顧客リレーションで実績を重ねた。その後、CTO（最高技術責任者）やエンジニアリングマネージャを歴任し、技術と組織の両面から成長を支援する。

現在は株式会社レッドジャーニーでトランسفォーメーションコーチ（既存の仕組みの再解釈と再適応をする役割）として、組織変革を軸にプロジェクトマネジメント、プロダクトマネジメント、組織マネジメントの領域で幅広く伴走している。業界横断のコミュニティ運営や国立大学・専門学校での講師も務め、次世代人材の育成にも力を注ぐ。

また、地域における行政と市民の抱える課題解決にも取り組む。近年はsamuraiRed名義でバーチャル空間での活動にも領域を広げている。

ポートフォリオサイト：<https://www.samuraired.net/>

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計8,000万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watchシリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向けIT関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問合わせを停止しております。メールまたはWebサイトからお問合せください。